

アメリカの選挙におけるインターネット上の誹謗中傷の事例

アメリカでは、誹謗中傷を含んだネガティブキャンペーンは選挙運動で常態化しており、テレビ、ラジオ、インターネットなどあらゆる媒体で行われている。ネガティブキャンペーンの中ではテレビによるものの影響力が大きく、インターネットによるネガティブキャンペーンが単独で選挙結果に決定的な影響を与えたとされる事例は多くない。

【2006 年バージニア州上院選】

共和党現職のジョージ・アレン候補は圧勝が見込まれていた。対する民主党新人のジェームス・ウェブ候補の陣営は、インド系の男性をアレン候補の集会に忍び込ませ、集会でのアレン候補の発言をビデオで記録させた（相手陣営の集会に忍び込み問題発言などがなければ記録する人を「トラッカー（追跡者）」と呼ぶ）。

ある集会において、アレン候補は、このインド系のトラッカーに対して「マカカ（サルを意味する人種差別的用語）」と呼びかけた。この映像が直ちにリベラル系のネットサイトに流れ、数日後にはワシントン・ポスト紙が一面で報道し、アレン氏への批判が高まった。結果的にアレン候補は僅差で敗北し、インターネットが選挙結果に大きな影響を与えた事例とされている。

（「終盤米中間選挙 ここまでやるか 新戦術の攻防 1「トラッカー」暗躍」『東京新聞』2006.10.17）

【2012 年大統領選挙】

共和党のサウスカロライナ州予備選において、ニュート・ギングリッチ候補に関して次のような CNN の速報がメールで流された。

「マリアンヌ・ギングリッチに近い筋が CNN に伝えたところによると、前下院議長のニュート・ギングリッチ氏は、結婚前に妊娠した子どもを中絶するよう、彼女に強要したとのことである」

しかし、このニュースは CNN の名を騙った偽のメールであり、ギングリッチ候補を陥れようとする罠であった。ギングリッチ氏は、当初から勝利が予想されていたサウスカロライナ州を制したものの、その後に予備選から撤退している。

（"Fake CNN Alert Alleges Newt Gingrich Asked Ex-Wife for Abortion,"Reuter, 2012.1.20.）

失言求め、敵候補追跡

06 東
十一月七日投票の米中間選挙まで約二週間。連邦議員選で上下両院の過半数維持を目指す共和党と、その牙城を崩したい民主党との攻防が終盤を迎える中、両党が新たに導入した奇抜な集票戦術が、選挙戦を一層し烈にしている。新戦術が及ぼす衝撃を、注目の選挙区で追った。

九月下旬、バージニア州のある大学キャンパス。州選出上院議員選の民主党新人候補、シエームズ・ウェブ氏(左)の演説会に押しかけた報道陣の中に、一風変わった中年男性の姿があった。記者証もなく、短パンスタ



民主党候補の発言をビデオに収める「トラッカー」とみられる男性(手前の後ろ姿)＝バージニア州で

1 「トラッカー」暗躍

イル。共和党政権のイラク政 録。問題発言などがあれば、策を批判するウェブ氏に向け て、安物のビデオカメラをし つく回し続けている。

「あなたはトラッカー(追 跡者)か」。そう問いかける と、男性は「ジョージ・アレ ンのために働いている。それ 以上は言えない」とだけ答 え、立ち去った。

八月下旬、州西部ブレ イクスで開かれたアレン陣営の 集会。ウェブ氏側のトラッカ ーは、人口一万余程度のこ んな小さな町にも来ていた。 若いインド系男性のトラッ カーを見つけたアレン氏は 「ほら、あの黄色いシャツを 着た男。『マカカ』というの かな。いつも私にくっついて くる。よっこそ米国へ」と発 言した。

ウェブ氏が挑む相手の共和 党現職、ジョージ・アレン上 院議員(右)は、同州知事も経 験し、二〇〇八年大統領選へ の出馬説もあるほどの有力 者。今回の選挙でも、当初は アレン氏の圧勝が見込まれて いたが、この終盤、逆転の目 も出てきた。

ウェブ氏猛追のきっかけを つくったのが「トラッカー」 だ。相手陣営の集会に忍び込 み、どんな発言をしたか、ど んな人物が集まっているか をすべて調査し、記 が、これをきっかけに過去の

アレン陣営は「髪形につい て発言したのだ」と釈明した った。アレン陣営は「髪形につい て発言したのだ」と釈明した った。アレン陣営は「髪形につい て発言したのだ」と釈明した った。

ネットに流し、形勢逆転

アレン氏の人種差別的発言が 次々と発覚。批判が渦巻く 中、同氏は九月下旬、州都リ ッチモンドで、黒人系キリス ト教団主体主催の記者会見に臨 んだ。

「私はアフリカ系米国人 (黒人)のために働いてきた し、友人もたくさんいる」。 そう強調するアレン氏の横 で、団体メンバーのレイ・シ ョンソン牧師(左)も「アレン は地域の黒人に必要な大学進 学奨学金制度の整備などに取 り組んでおり、感謝してい る」と必死に援護する。だ が、差別イメーシの払しょく に努めるアレン陣営の姿は逆 に、選挙戦で防戦に躍起の印 象を深めつつある。

アレン氏の問題発言を撮影 したウェブ陣営のトラッカー は、弱冠二十歳の大学生サポ ーターだった。各党全国レベ ルでつき込まれる資金と要員の 多寡が勝敗を分けるといわ れてきた中間選挙で、ウェブ 陣営は、たった一人のポラン ティア学生によるタダ同然の 新戦術で、支持層を大幅に広 げようとしている。

(ワシントン・小栗康之 写真も)

韓国の過去の選挙で虚偽・誹謗が影響を与えたとされる事例

①2002年に実施された第16代大統領選挙における事例

ハンナラ党（現セヌリ党）候補として出馬した李会昌（イ・フェチャン）候補に、息子の兵役逃れ疑惑が持ち上がったが、後に検察は嫌疑なしと判断した。しかし、この件で李会昌氏は大きな打撃を受けたと言われており、李会昌氏が盧武鉉（ノ・ムヒョン）氏に敗れた原因の一つとする見方がある。

②2011年に実施されたソウル市長選挙における例

ハンナラ党（現セヌリ党）候補として出馬した羅卿瑗（ナ・ギョンウォン）氏が、年会費1億ウォン（1円=12ウォンとして約834万円）のエステサロンに通っているとの情報が拡散した。警察捜査の結果、事実ではないと結論付けられた。羅卿瑗氏は落選したが、この件が選挙結果に影響を与えたとの見方がある。なお、この選挙で当選した朴元淳（パク・ウォンスン）氏に対しても、当選後に息子の兵役逃れ疑惑が持ち上がった。この件も後に事実ではないことが明らかとなり、疑惑を提起した康容碩（カン・ヨンソク）議員は辞職した。

参考文献

- ・「兵役疑惑関連事件の捜査が終結」『朝鮮日報』（日本語、要会員登録）2003.1.30.
<http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2003/01/30/2003013063008.html>
- ・「羅卿瑗氏「1億ウォンのエステ利用」説はウソ、警察が捜査結果発表」『東亜日報』（日本語）2012.1.30.
<<http://japanese.donga.com/srv/service.php3?biid=2012013007108>>
- ・「ウソ判明の『1億ウォンエステ説』、ネットに自省の声」『東亜日報』（日本語）2012.1.31.
<<http://japanese.donga.com/srv/service.php3?biid=2012013123928>>

担当：海外立法情報課 藤原夏人（内線：衆議院から 98-23713、参議院から 970-23713）

記事入力 : 2003/01/30 13:19

兵役疑惑関連事件の捜査が終結

ソウル地検は30日、金大業(キム・デオブ)氏が提起したハンナラ党の李会昌(イ・フェチャン)前候補の長男、正淵(チョンヨン)氏の兵役疑惑などに関連し、特別捜査1部と特別捜査3部で捜査している名誉毀損など、告訴告発事件のうち、ハンナラ党が新千年民主党の干容宅(チョン・ヨンテク)議員を名誉毀損の容疑で公訴した事件を除いた13件に対し、容疑なし、却下、公訴時効の完成などの決定を下した。

検察は、金大業氏が李前候補の次男、李秀淵(イ・スヨン)氏の兵役不正を隠ぺいするために、李前候補夫人の韓仁玉(ハン・インオク)氏が自分に金品を渡したとして陳情を出した事件に対し、一種の却下処分である「回覧終結」処分を下した。

検察は、韓氏に対する金氏の陳情内容が信憑性を欠き、具体的な犯罪の端緒がないという理由で捜査価値がないという判断を下したと伝えられた。

検察は、金大業氏が兵役疑惑と関連し、ハンナラ党とマスコミ3社を相手取って起した5～6件の名誉毀損事件についても容疑なし処分を下し、事件を終結した。

朝鮮日報 / 朝鮮日報日本語版

<記事、写真、画像の無断転載を禁じます。 Copyright (c) 2011 The Chosun Ilbo & Chosunonline.com >

BBC WORLD

NHK Asia

asahi.com

- 全ての記事
- 経済
- IT
- 社会
- 政治
- 国際
- スポーツ
- 社説
- オピニオン
- 暮らし
- 文化

Weather

About Dong-A Ilbo

• サイタリンク

• 東亜漫評



社会

羅卿媛氏「1億ウォンのエステ利用」説はウソ、警察が捜査結果発表

LISTEN:

JANUARY 30, 2012 03:06

KOREAN TEXT

昨年10月にあったソウル市長補欠選挙で波紋を呼んだ与党ハンナラ党の羅卿媛(ナ・ギョンウォン)候補(写真)の「年間会費1億ウォンのエステクリニック利用説」は、事実無根であることが、警察の調べで確認された。同クリニックは、年間最大利用可能額が3000万ウォンであり、羅元議員は当時、同クリニックに治療費として550万ウォンを払ったことが分かった。

羅元議員側は昨年11月、「1億ウォン台のエステクリニックに通った」と報じたニュース週刊誌「時事IN」の記者やインターネット放送、「ナヌコムスタ(ナコムス=俺はけち臭い)」の出演者など7人を告発したが、ソウル地方警察庁は28日、捜査結果を発表した。

警察は、問題となったソウル清潭洞(チョンダムドン)のDクリニックに対し、昨年11月30日に家宅捜索を行い、08年のオープンから最近までの診療記録、羅元議員の診療記録について分析を行い、クリニックの院長を呼んで事情聴取した。

調べの結果、Dクリニックには年会費が1億ウォンに上る会員券などなかった。警察の発表によると、羅元議員が昨年2月から選挙直前までの9か月間、娘や本人の治療のため、10回病院を訪れており、治療費550万ウォンの半分は羅候補の治療費として、残りは娘の治療費として払われたという。

「1億ウォンのエステクリニック利用」を巡る主張はウソと判明したが、疑惑を報じた時事INの取材陣を、虚偽事実流布罪で処罰するのは難しい模様だ。警察の関係者は、「取材当時、記者が『最も高いのはいくらか。一枚(1億ウォン)か』と問うたところ、Dクリニック院長は『そうだ』と言うニュアンスで答え、事実には信じるだけの状況があった」と話した。

しかし、警察は時事INのチュ・ジンウ記者が、「ナコムス」で提起した羅元候補の鼻の整形手術を巡る疑惑については、候補の資質や道徳性とは関係のないプライバシー誹謗行為とみて、事実関係と関係なく刑事処罰する方針だ。

< BACK ^ TOP

社説

【社説】5年後は、[朴](#)近不正の「セルフ赦免」が行われないことを祈る
李明博(イ・ミョンバク)大統領が、朴槿恵(パク

オピニオン

【オピニオン】アウン・サン・スーチャー氏とミャンマーの難民
「ミャンマー民主化運動の象徴」、「鉄の蘭」、「



donga.com

Copyright 2008 donga.com. All rights reserved.
Contact newsroom@donga.com for more information.

BBC WORLD

JTV Asia

asahi.com

- 全ての記事
- 経済
- IT
- 社会
- 政治
- 国際
- スポーツ
- 社説
- オピニオン
- 暮らし
- 文化

Weather

About Dong A ilbo

• サイトリンク

• 東亜漫評



社会

ウソ判明の「1億ウォンエステ説」、ネットに自省の声

LISTEN:

JANUARY 31, 2012 07:52

KOREAN TEXT

昨年10月のソウル市長補欠選挙で、与党ハンナラ党の羅卿瑗(ナ・ギョンウオン)候補の「年会費1億ウォンのエステクリニック利用説」が波紋を呼んだが、警察の捜査の結果事実無根であることが30日付の東亜(トンア)日報の報道で明らかになると、同日ツイッターなどのソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)やインターネット掲示板に批判と自省の声が寄せられた。

特に今回の事件を、2002年の第16代大統領選挙の時に起こった「兵風」疑惑と比較して、羅元議員がまたも無実の「選挙被害者」になったという反応が多かった。02年の大統領選で、ハンナラ党の李会昌(イ・フェチャン)候補が、兵役ブローカーの金大業(キム・デオブ)氏の「兵風工作」によって支持率が急落し、その結局選挙で敗れた事件と、今回の1億ウォンエステ説に大きな違いがないということだ。金氏は当時、李候補の2人の息子に兵役免除の不正があったと主張し、李候補にダメージを与えた。

ハンドルネーム「@joh****」は30日、ツイッターで「(1億ウォンエステ説は)正確な事実確認のない虚偽誹謗」であると掲載し、「(2002年の)大統領選の結果に決定的な影響を及ぼした兵風事件を思い出させる」と批判した。ハンドルネーム「@007*****」は、「1億ウォンエステ説のために羅卿瑗は沈没した。金大業以降、中傷宣伝を根絶する対策はないのか?」と皮肉った。

根拠のない疑惑にすぎない誤った情報に無防備に振り回されたのには、ネットユーザー自らの責任もあるという自省の声もあった。ハンドルネーム「@maz****」は、「羅卿瑗1億ウォンエステ説は結局ハブニングだったが、『周囲がそう言っていた』と事実無根のうわさを広める行為に対して皆反省しなければならない」と指摘した。ハンドルネーム「@tru*****」は、「今回の結果を見て、驚いたツイッターのユーザーは多いだろう」と掲載し、ハンドルネーム「@lol****」は、「初めからこれが話題になるほどのことだったのか?」と自嘲的に振り返った。

羅元議員について無責任に事実無根のうわさを広めたインターネット・ポッドキャスト「ナヌコムスダ(私はせこい奴)」(ナコムス)のメンバーを批判する内容も相次いだ。ハンドルネーム「ヌエ***」は、「こうなればナコムスにも問題がある」と述べ、「ナコムスの役割を否定するわけではないが、彼らの開き直りの精神は実に危険だ」と強調した。ハンドルネーム「@tem*****」は、「ナコムスは自分たちが望むものを得た。このような形の選挙が今後も続くだろう。ナコムスも『せこい』ことでは達人だ」と指摘した。ハンドルネーム「チョ***」は、「過ちは互いに認めるべきだ。なぜ味方だからといって無条件にかばうのか」と述べ、「黄禹錫(ファン・ウソク)がそうだし、シン・ジョンアもそうだ。最近の郭魯炫(クァク・ノヒョン)も、自身の過ちが明らかになれば、認めて謝罪する姿勢が必要だ」と強調した。

社説

【社説】5年後は、劇不正の「セルフ赦免」が行われないことを祈る
李明博(イ・ミョンバク)大統領が、朴
槿恵(パク

オピニオン

【オピニオン】アウンサン・スーチー氏
とミャンマーの難民
「ミャンマー民主化運動の象徴」、「鉄
の扉」、「



< BACK ▲ TOP

dongA.com

Copyright 2008 donga.com. All rights reserved.
Contact newsroom@donga.com for more information.